



@server

**iSeries (AS/400)**

多機能漢字印刷ユーティリティー  
拡張機能用追補

## 商標

AS/400、e (ロゴ) server、IBM、およびiSeriesは、IBM Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

第 2 版 2002 年 10 月

このマニュアルは、製品の改良その他により適宜改訂されます。

© Copyright International Business Machines Corporation 2002.



AS/400

SH88-5019-00  
(英文原典：SH18-2420-00)

多機能漢字印刷ユーティリティー  
バージョン 3

第1版 第1刷 1994年11月  
第26刷 1999年12月

本書はIBM AS/400ライセンス・プログラム、多機能印刷サポート・ユーティリティ(APSU/400、プログラム番号: 5763-API)のバージョン3 リリース1モディフィケーション0およびそれ以降に適用されます。

© Copyright International Business Machines Corporation 1994.

## 特記事項

本書には、説明のための簡単な例として弊社が作成した小さいプログラムをいくつか収めています。これらのプログラムは、すべての条件のもとで十分にテストしてあるわけではありません。したがって、これらのプログラムの信頼性、実用性、および機能について、弊社で保証するものではありません。

IBMは、本書で解説されている主題について特許権（特許出願を含む）を所有していることがあります。本書の提供はIBMまたは他のいかなる第三者が保有する特許権、商標権、著作権、その他の同様の権利についても、明示であるか黙示であるかを問わず、実施権、使用権等を許諾することを意味するものではありません。特許実施許諾に関するお問い合わせは、文書でもって下記の宛先にご連絡ください。

〒106  
東京都港区六本木3-2-31  
IBMワールド トレード アジア コーポレーション  
コマーシャル リレーションズ

本書においてアスタリスク(\*)の付いている以下の用語は、IBM社が所有している商標(TM)です。

AS/400	IBM	OS/400
Personal System/55	PS/55	RPG/400
COBOL/400		

本書において二重アスタリスクの付いている以下の用語は、他社の商標です。

Windows                      Microsoft Corp.



# 本書について

本書は、AS/400\*のライセンス・プログラム、多機能印刷サポート・ユーティリティー (APSU/400、プログラム番号:5763-API)の中での多機能漢字印刷ユーティリティー (以降、Advanced Print Writerの頭文字をとってAPWと記述します。)の機能と使用方法について解説したもので、APWのオペレーター、プログラマーおよびAS/400のシステム・エンジニアの方々を対象に書かれています。

本書は、読者に以下の知識があることを前提としています。

- AS/400システム の概念、その制御プログラム(OS/400\*)、言語、およびユーティリティー
- パーソナルシステム/55で使用する場合は、その概念と操作方法

## 本書の構成

本書は、次の12の章と4つの付録で構成されています。

「第1章 AS/400システム多機能漢字印刷ユーティリティーの紹介」では、APWの機能の概要、作業の流れ、および導入について説明しています。

「第2章 APWメニュー」では、「APWメニュー」の表示方法やその使い方について説明しています。

「第3章 書式の作成」では、書式を作成するために必要なコマンドとその入力方法、および書式の作成の方法を説明しています。

「第4章 記号の作成と編集」では、記号を作成したり編集したりするために必要なコマンドとその入力方法、および記号の作成と編集の方法を説明しています。

「第5章 印刷装置への出力」では、書式とスプール・データを合成して印刷装置に出力する方法について説明しています。

「第6章 APWの書式の処理」では、書式一覧表(リスト)を使用して書式の作成、印刷機能の変更、コピー、削除、印刷機能の表示、合成、そして一覧表(リスト)の印刷方法について説明しています。

「第7章 書式一覧表の表示」では、既存の書式を一覧表で表示する方法について説明しています。

「第8章 バッチ・ジョブでの使用」では、APWをバッチジョブで使用する方法について説明しています。

「第9章 ユーザー・プログラムからのAPW合成出力」では、ユーザー・プログラムからAPW合成出力プログラムを呼び出し、合成の後、出力する方法について解説しています。

「第10章 システム/36 APW用適用業務プログラムの移行」では、システム/36からAS/400への移行の方法およびその相異について説明しています。

「第11章 使用上の考慮点」では、APWを使用する上での考慮点をそれぞれの機能について説明しています。

「第12章 問題判別」では、APWをご使用中に発生した問題の判別方法とその対処の仕方について説明しています。

「付録A 書式の作成と印刷の例」では、書式の作成方法とその印刷の方法について具体的に説明しています。

「付録B メッセージ」では、APWの操作中に表示されるメッセージをリスト・アップしています。

「付録C 書式記述原始ステートメントのまとめ」では、書式の作成・編集時に使用する書式記述原始ステートメントを一覧表で示しています。

「付録D 印刷機能に対する制限」では、各印刷装置が持つ印刷機能の制限を説明しています。

「付録E バー・コードの要約」では、APWでサポートされるバー・コード・タイプとそれぞれのタイプに必要な情報を説明しています。



## 関連資料

ここでは、本書と併用するマニュアル、および参照マニュアルについて記述します。

---

### AS/400関連

AS/400のマニュアルの詳細な説明は、『AS/400 資料の手引き V3』、SC88-5262を参照してください。

#### システムの基本的概念と操作方法

- 『AS/400 アドバンスド・シリーズ概説書 V3』、GA88-5026

IBM AS/400の入門書で、AS/400の機能の概要、構成、プログラム・プロダクトなどについて説明しています。

- 『AS/400 システム操作 V3』、SC88-5168

AS/400の基本的な操作方法について説明しています。

#### OS/400 コマンドおよび制御言語(CL)

- 『AS/400 CL (制御言語) 解説書 V3』、SC88-5339

制御言語(CL)の構文および構文図、CLコマンドとそのパラメーター、およびユーザー・プロフィールによるコマンドの許可などについて説明しています。

- 『AS/400 CL (制御言語) プログラミング V3』、SC88-5338

OS/400の機能実行に必要なCLコマンドの使用例、原始ファイルの作成やテストの方法、CLプログラムのコーディングの方法など、プログラマーの方に必要な情報について記述しています。

- 『AS/400機密保護 解説書 V3』、SC88-5269

AS/400の機密保護の概念とその導入の仕方について説明しています。

## 言語、ユーティリティーおよびデータ記述仕様

適用業務を作成する場合は、お使いの言語に合わせて、下記のマニュアルを参照してください。

- 『AS/400 ソフトウェアの導入 V3』、SC88-5158
- 『AS/400 言語：RPG/400 使用者の手引き』、SC88-5203
- 『AS/400 言語：COBOL/400 使用者の手引き V3』、SC88-5201
- 『AD TOOLSET/400：原始ステートメント入力ユーティリティー(SEU) V3』、SC88-5200
- 『AD TOOLSET/400：文字作成ユーティリティー(CGU)の手引き V3』、SC88-5196
- 『AS/400データ管理 V3』、SC88-5330
- 『システム/36 環境 プログラミング V3』、SC88-5340
- 『IBM AS/400印刷書式・記号移行援助ユーティリティーS/36 DBCS用) 使用者の手引き』、N:SH18-2234

# 目次

第1章 AS/400多機能漢字印刷ユーティリティの紹介	1-1
1.1 APWとは?	1-2
1.2 機能の概要	1-3
コマンドで実行するAPW機能	1-3
ユーザー・プログラムから実行するAPW機能	1-4
メニューのオプションから実行するAPW機能	1-5
1.3 APWを使用した業務の流れ	1-6
1.4 APWの使用にあたっての必要事項	1-8
最小構成	1-8
注意事項	1-8
1.5 APWの導入	1-10
1.6 導入後の作業	1-10
第2章 APWメニュー	2-1
2.1 STRAPW(APW開始)コマンド	2-2
2.2 機能キー	2-3
2.3 画面の操作援助	2-3
2.4 APW表示画面の流れ	2-4
第3章 書式の作成	3-1
3.1 CRTAPW (書式作成) コマンド	3-2
コマンド構文図	3-2
コマンド・パラメーター	3-4
FONTの種類	3-8
コマンドの入力	3-10
3.2 書式記述原始メンバー	3-12
3.3 書式記述原始ステートメント	3-13
3.4 注釈	3-14
3.5 バー・コード印刷機能指定のための継続記号	3-15
3.6 固定文字	3-17
印字行と原始ステートメントの順番を一致させる方法	3-17
行指定データを使用する方法	3-18
3.7 印刷機能	3-19
罫線の指定方法	3-19
行間隔の指定方法	3-28
ADDAPWコマンド	3-30
LINEパラメーター: 行番号の指定	3-31
MAGNIFYパラメーター: 拡大文字の指定	3-31
SUPER SUBパラメーター: 上付き文字・下付き文字の指定	3-34
SHADOWパラメーター: 影付き文字の指定	3-35
CPIパラメーター: SBCS文字の文字間隔(Character Per Inch)の指定	3-37
IGCCPIパラメーター: DBCS文字の文字間隔(Character Per Inch)の指定	3-39
IGCCHRRTTパラメーター: DBCSデータの縦書きの指定	3-41
IGCSOSIパラメーター: SO SI制御文字の印刷方法の指定	3-43
FONTパラメーター: SBCS文字のフォント・スタイルの指定	3-45
BARCODEパラメーター: バー・コードの指定	3-47
SYMBOLパラメーター: 記号の指定	3-52
POSパラメーター: 印刷位置の指定	3-56
印刷位置の制御ルール	3-57
その他のルール	3-63

印刷機能と固定文字の混在	3-64
3.8 CHGTGTEML (エミュレーション変更) コマンド	3-65
コマンド構文図	3-65
コマンド・パラメーター	3-65
コマンドの入力	3-66
3.9 出力リスト	3-67
3.10 書式ファイル	3-71
第4章 記号の作成と編集	4-1
4.1 機能の流れ	4-2
4.2 EDTSYMAPW(記号編集)コマンド	4-4
コマンド構文図	4-4
コマンド・パラメーター	4-4
コマンドの入力	4-5
4.3 記号セットの作成	4-7
4.4 記号セットの処理	4-9
4.5 記号の指定方法	4-10
記号IDの指定方法	4-10
記号IDコードの桁数の指定方法	4-10
4.6 記号の作成と編集	4-11
記号の作成	4-12
記号の編集	4-12
「記号の設計」画面の使い方	4-13
4.7 「記号の設計」画面での各機能	4-15
コマンド・キーの機能	4-15
制御フィールドへのコマンド入力	4-18
4.8 記号の拡張	4-20
4.9 CVTAPWSYM(APW記号の変換)コマンド	4-23
コマンド構文図	4-23
コマンド・パラメーター	4-24
コマンドの入力	4-25
4.10 記号セット・ファイルの削除	4-26
第5章 印刷装置への出力	5-1
5.1 MRGAPW (書式合成) コマンド	5-2
コマンド構文図	5-2
コマンド・パラメーター	5-4
コマンドの入力	5-7
5.2 書式の印刷	5-10
5.3 ユーザー・データの印刷	5-11
5.4 印刷ページ	5-12
5.5 書式の変更	5-14
CHGMRGデータの構文図	5-14
CHGMRGデータの例	5-15
5.6 書式とユーザー・データの重複	5-16
第6章 APWの書式の処理	6-1
6.1 APWの書式の処理画面の使用方法	6-1
機能キーの使用方法	6-2
オプションの使用方法	6-4
6.2 印刷機能の変更	6-4
6.3 書式のコピー	6-5
6.4 書式の削除	6-7
6.5 印刷機能の表示	6-8

6.6	書式リストの印刷	6-9
第7章	書式一覧表の表示	7-1
7.1	DFLAPW (書式一覧表表示) コマンド	7-2
	コマンド構文図	7-2
	コマンド・パラメーター	7-2
	コマンドの入力	7-3
7.2	書式の削除	7-6
7.3	書式ファイルの削除	7-6
第8章	バッチ・ジョブでの使用	8-1
第9章	ユーザー・プログラムからのAPW合成出力	9-1
9.1	概要	9-2
	APW合成出力プログラム	9-2
	ユーザー・プログラムの処理手順	9-4
9.2	パラメーター	9-5
	APWOPNのパラメーター	9-5
	APWCLSのパラメーター	9-5
	APWMRGのパラメーター	9-5
	APWTSTのパラメーター	9-7
9.3	APW合成出力プログラムの呼び出し例	9-8
	RPG/400プログラムの呼び出し例	9-8
	COBOL/400プログラムの呼び出し例	9-9
9.4	リターン・コードとメッセージ番号の対応	9-10
	APWOPNプログラム	9-10
	APWTSTプログラム	9-10
	APWCLSプログラム	9-10
	APWMRGプログラム	9-11
9.5	使用上の考慮点	9-12
第10章	システム/36 APW用適用業務プログラムの移行	10-1
10.1	移行作業	10-2
	OCLステートメント	10-2
	RPG II	10-2
	S/36 APW資源 (書式と記号ファイル)	10-2
	システム/36装置構成	10-3
10.2	SUBRMGモジュール	10-3
	パラメーター・エラー	10-4
	メッセージ番号/リターン・コードの相違	10-4
	考慮事項	10-6
第11章	使用上の考慮点	11-1
11.1	書式を作成する際の考慮点	11-1
11.2	印刷装置に出力する際の考慮点	11-1
11.3	記号を作成する際の考慮点	11-2
11.4	出力スプール・ファイルを扱う際の考慮点	11-2
11.5	印刷装置タイプ別の考慮点	11-2
	*SCS	11-3
	*PAGES	11-3
第12章	問題判別	12-1
	問題判別手順	12-2

付録A. 書式の作成と印刷の例	A-1
A.1 作業の流れ	A-2
A.2 印刷様式的设计	A-3
A.3 記号の作成	A-4
A.4 書式の作成	A-8
A.5 書式の印刷	A-15
A.6 ユーザー・データの作成	A-18
A.7 書式とユーザー・データの合成	A-30
付録B. メッセージ	B-1
付録C. 書式記述原始ステートメントのまとめ	C-1
付録D. 印刷機能に対する制限	D-1
付録E. バー・コードの要約	E-1
本書で使用する用語	X-1
索引	X-3